

Joyama

vol. **41**

2018 Winter

通信 Joyama News

福岡教育大学広報誌

University of Teacher Education Fukuoka Campus Magazine



キャリア支援センター
Career Support Center



特集

教員採用試験合格状況

—合格者3年連続増加—



国立大学法人
福岡教育大学

特集

教員採用試験合格状況

—合格者3年連続増加—

vol.
41



CONTENTS

- 02 特集
教員採用試験合格状況
- 12 福教大の教員紹介
- 14 福教大NEWS
- 17 サークル紹介
猿娘(さるむす)
おでかけ!いろは書会
- 18 社会連携 連載第19回
- 20 福教大卒OB-OG
新宮町立新宮東小学校教諭
田中 幸司さん
北九州市立湯川中学校教諭
田川 晴菜さん
- 22 TOPICS
平成29年度福岡教育大学
いじめ防止研修会を開催しました。
表紙モデルの福教大生☆
福岡教育大学基金のご案内
- 23 キャンパスからの便り

本号の特集では、平成29年度実施の本学の教員採用試験合格状況、学生の教員採用試験合格に向けた本学の取組とともに、実際に教員採用試験に合格した学生の声を紹介します。

今年度も多くの学生のみなさんが「教員になるという夢」を実現しました。福岡教育大学では、大学内のいたるところで学生の学び合う姿を見ることができます。この成果は、日頃の学生の学びの結果と考えています。

キャリア支援センターでも、そういった学生の学びをしっかりとサポートしています。教員採用試験の一次・二次試験対策を中心とした特別講座、教員として活躍する先輩と出会うことのできる教職イベントなど、一年を通し、学生の学びを支えています。本学の取り組みは、単なる教員採用試験対策にとどまらず、教員としての心構えなど、教員として教壇に立つためのすべてを支えているところにあると考えています。その最前線で学生と向き合っているのが、小学校等での管理職経験があり実践のスペシャリストでもある4名の「就職支援アドバイザー」です。アドバイザーとの出会いは、学生の財産となっています。

今後もキャリア支援センターでは、学生のみなさんの夢の実現のために、学び合いを全力でサポートしていきます。

キャリア支援センター長 生田 淳一

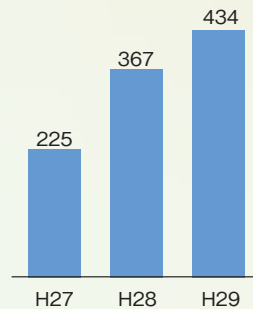


教員採用試験合格状況

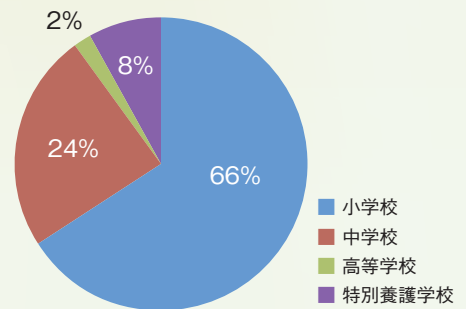
平成29年度実施公立学校教員採用試験の合格者の状況は以下のとおりです。昨年度に引き続き、募集人数の増加や福岡市が別日程で試験を実施したことなどにより併願受験者が増加しました。キャリア支援センターでは、受験地に応じた個別指導の徹底、二次試験対策として短期集中プログラム(模擬授業・面接対策講座)などを実施し、合格者は、昨年度より67名(延べ人数)増えました。

(平成30年1月31日現在)

本学の公立学校教員採用試験合格者の推移



公立学校教員採用試験合格者校種別内訳 (平成29年度実施分)



自治体別公立学校教員採用試験合格者 内訳

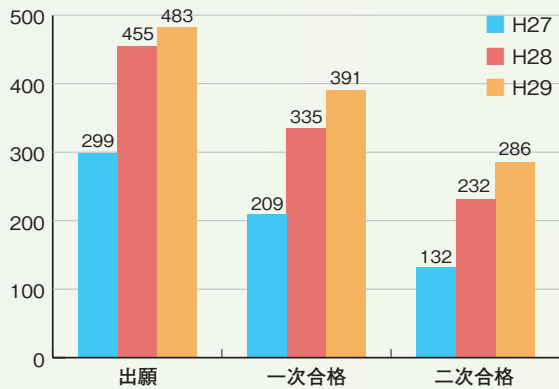
平成30年1月31日 現在

	九州・沖縄											小計 (九州・沖縄)
	福岡県	福岡市	北九州市	佐賀県	長崎県	熊本県	熊本市	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	
H29実施	182	143	20	6	3	4	2	1	7	1	1	370
H28実施	159	72	32	4	7	3	1	6	0	3	2	289
H27実施	109	18	27	3	2	1	2	4	0	0	1	167

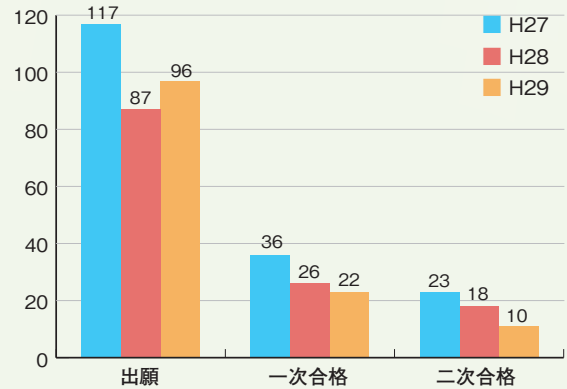
	山口県	広島県・市	岡山県・市	鳥取県	島根県	愛媛県	香川県	兵庫県	三重県	他	合計(全国)
H29実施	11	10	3	0	0	1	4	1	2	32	434
H28実施	14	10	2	1	2	2	0	3	2	42	367
H27実施	8	13	2	2	1	1	0	0	0	31	225

※延べ人数

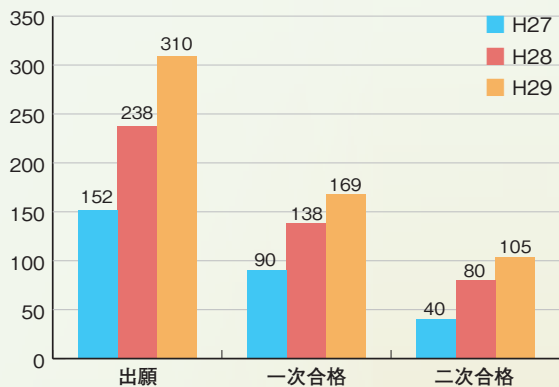
小学校



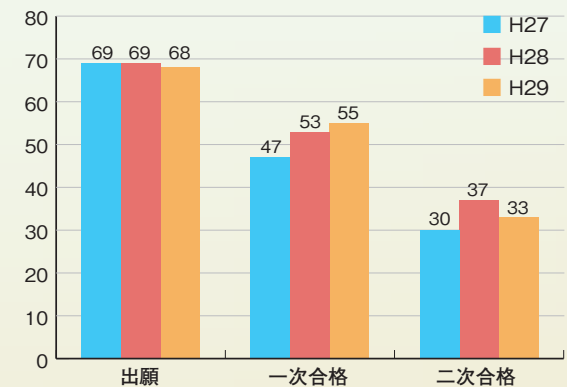
高等学校



中学校



特別支援学校



教員採用試験のための取組

キャリア支援センターでは、4名の就職支援アドバイザーを中心として大学教員と連携し、1次試験対策、2次試験対策(面接、模擬授業、集団討論等)の講座を開設しています。各学年のねらいに応じたきめ細かい指導の一部をご紹介します。

教員採用試験特別講座

教員を目指す学生を対象に、通常の授業とは別に実施している取組です。

>> H29年度4年生特別講座(実施時期:4月~9月)

2次の面接試験対策講座と直前対策の講座です。



人物試験とも言われ、

「人柄」や**「可能性」**が観られる面接試験突破に向けて、まずは、自分に問いかけて自分を知り、その上で、グループ活動や講座の中で仲間と切磋琢磨し、自分をより高めていきます。



>> H29年度3年生特別講座(実施時期:4月~7月、11月~3月)

1次の筆記試験突破のための講座です。現役一発合格を目指して、年間58回にわたる講座でじっくり筆記試験対策を行います。



筆記試験突破のカギは、

「過去問分析」です。受験する自治体の5年間分の過去問から出題傾向をつかみます。また、仲間と協力し合い、効率的な学びを実現します。



>> H29年度2年生特別講座(実施時期:10月~2月)

教員採用試験に合格した4年生が、2年生の活動の支援をします。



2年生では、まず教員採用試験の

「見えないポイント」をグループで探ります。3年生での過去問分析の効果を上げるためには、必要な活動です。



教職イベント

全学年を対象として、教員を目指すモチベーションや教職キャリアを高めるため、年間をととして全6回実施している取組です。

第1回

教育大生として 今やるべきこと

4年生での教採を見据え、それぞれの学年で今やるべきことを学びます。

第2～4回

先輩から学ぶ シリーズ

教採に合格した4年生から「教採対策の心構え」や「面接試験」、「現役一発合格を勝ちとるための準備と試験対策」について学びます。

第5回

春休み 教採学習会

4年生での教採一発合格を見据え、それぞれの学年で今やるべきことを学びます。

第6回

教壇に立つ 準備のための講座

卒業後に教員や講師として働く学生を対象として、演習形式を取り入れた準備講座です。自信を持って教育現場へ巣立っていただきたいと思い、この講座を開催しています。



先輩から学ぶ
「教採パネルディスカッション」の様子

教員採用試験模擬試験 (実施時期: 4月、12月、2月)

年3回、学内で教員採用試験模擬試験を実施しています。模擬試験結果をもとに自分の弱点を知り、さらなる学習効果を上げるためにも受験をおすすめしています。受験料については、後援会から補助金の支援があるので、学生の経済的負担も最小限です。

教員採用試験学内説明会 (実施時期: 4～5月、11月～3月)

各自治体の教員採用担当者による学内説明会を実施しています。教員採用試験の実施状況や試験内容、教育現場の様子などについて説明があります。各自治体の傾向を知るには絶好の機会となり、教員採用試験に向けてのモチベーションが高まります。

お知らせ

10分映像で学ぶ『教師のスキル』DVD

教師として必要なスキルを10分にまとめた映像集ができました。キャリア支援センターの就職支援アドバイザーの先生方をはじめ、福教大生も出演しています。「学習指導編」、「学級経営編」、「教員採用試験編」、「体育実技編」など教員採用試験の勉強に活用してください。詳しくは、キャリア支援センターまで。

就職支援アドバイザーからのメッセージ

「教師になりたい」という夢をもち入学し、「教師になる」ための学業に励んでいる学生の皆さんの、「教師になれる」という思いと自信を強化するのが、本学のキャリア支援センターの取組であり、私たち就職支援アドバイザーの責務です。

毎年、多くの学生が「教師という職業に就く」という自分の夢を叶え、大学を巣立っていきます。次は、今、これを読んでいるあなたの番です。教職に関するキャリア形成のため、教員採用試験対策のため、自分を磨き成長させるため、仲間と一緒に行動を起こしましょう。キャリア支援センター、講座で待っています。楽しみです。

就職支援アドバイザー 榎田 也寸志先生





教員採用試験合格者メッセージ

▶北九州市教員採用試験 小学校合格

小学校の先生になります!

初等教育教員養成課程 数学選修4年

みやがわ ゆい

宮川 結衣さん

・福岡県立北筑高等学校出身

①福教大での学びについて

私は福岡教育大学に入学して様々なことを学んできました。それは大学の授業だけではなく、教育実習を通して学ぶことができました。教育実習では、福岡教育大学附属の小学校に行き、実際の教育現場で学級経営や授業づくりに関することを子どもたちや先生方から多く学びました。

初めは、実際の小学校現場に入って、実習をするということに私は不安でいっぱいでした。しかし、実習1日目に自分のクラスの担任の先生や指導教員の先生、そして笑顔のあふれるクラスの子どもたちに優しく迎えられ、それまで強張っていた私の顔が自然とほぐれたのを覚えています。実習中は、担任の先生から学級経営に関するアドバイス、児童理解に関するアドバイスを細かく教えていただきました。多くの先生方が子どもの実態に応じて様々な工夫をされていて、教員になったら私も参考にさせていただきたいと思うことが多くありました。

また、授業づくりでは、指導教員の先生と一緒に考えてくださり、授業の流れ、発問について教えていただきました。発問の仕方一つで子どもたちから返ってくる反応は異なり、授業の流れが変わってしまうことがあります。子どもたちの自然な思考の流れに沿う事ができるような授業展開、発問を行う大切さを学びました。指導教員の先生がきめ細かい指導をして下さったおかげで、つまづくこともありませんでしたが、楽しく子どもたちと一緒に授業をすることができました。

教育実習を通して、子どもたちと多くの時間を過ごし、多くの事を学ぶことができました。私は、この教育実習を終えて、以前より少し成長できたのではないかなと思います。教育実習で多くのことを学ぶことができたおかげで、教員採用試験の面接や模擬授業、小論文等でも自分の精一杯の力を発揮することができました。また、教育実習を通して、教員になりたいという同じ志を持つ友人たちと出会ったこともすごく価値のあるものでした。その友人たちと励まし合いながら教員採用試験の勉強をすることができ、とても良かったです。



教育実習風景

②教員として働くことへの意気込みについて

私は、今年の春から教員として働かせていただきます。教員として働くことにまだ不安なことも多くありますが、それ以上に子どもたちとの新しい出会いに胸をふくらませています。私は、福岡教育大学での授業や教育実習を通して学んだ多くのことを生かして、子どもに寄り添うことのできる教員になりたいと思います。子どもたちと共に学び、共に成長していけるよう、子どもたちと一緒に努力し続けていきたいです。また、福岡教育大学で出会った仲間とも共に切磋琢磨しながら、何が一番子どものためになるのかを考え、自己研鑽に努めていきます。

Successful examinee's message

▶ 福岡県教員採用試験 小学校合格 (平成28年度実施教員採用試験)

小学校の先生になります!

大学院教育学研究科教職実践専攻 教育実践力開発コース2年

あらかわ かずき

荒川 和輝さん

・福岡県立鞍手高等学校出身 ・西九州大学子ども学部子ども学科卒業

① 福教大での学びについて

教職大学院での学修は、大きく3つあります。1つ目は、教科指導や生徒指導、学級経営など学校現場で必要となる教師の専門性を学びました。2つ目は、講義や実習、日頃の生活から自分自身を見つめ直すことで、教育観の変容やどのような教師になりたいのかなど、学校現場に出るまでの心構えを学びました。3つ目は、新人院生のみならず、現職院生が身近にいることで院生室は職員室のような環境になり、講義以外の日常会話からも学校現場の実際を学びました。以上のように、教職大学院での2年間は、同じ志をもった仲間たちと温かく支えてくれた現職院生、熱心に指導をいただいた教授の方々の支援があり、充実した2年間にすることができました。

・実習について

附属学校における実習では、自分が苦手意識をもっていた教科の専門性や教材研究について学びました。毎日行ったりリフレクション(振り返り)では、現職院生に悩みや疑問を投げかけることで、子供を見る目や自己の課題を見つめ直しました。コラボレーション実習では、幼稚園と中学校に行きました。幼稚園では、子供の自主性や創造性を大切にする教育に触れ、小学校に上がってくる前の子供の様子を知ることができました。中学校では、先生方のタイムマネジメントの仕方について学び、小学校との違いを実感しました。そして、TA実践インターンシップ実習では、1年間を通して生徒指導や学級経営、授業づくりについて深く学びました。実際に現場の流れを経験することで、講義では学べない先生方の動きや事務処理についても見て学ぶことができたので、4月からの教員生活をイメージすることができました。

・教員採用試験対策について

教員採用試験の対策は、学部時代の経験を生かし、まずは自分の課題としているところを中心に対策していきました。その際、院生がお互いの強みを生かし、協力し合いながら日々対策をしていたので、心の支えにもなりました。また、様々な実習の学びや教授の手厚い指導から模擬授業や面接に自信をもてるようになりました。このように、様々な人たちの支えで最後まで頑張ることができたと感じています。自分との戦いであると同時に、同じ志をもった仲間たちと切磋琢磨しながら生活することが合格への道であると考えます。

② 教員として働くことへの意気込みについて

自分の人生において、この2年間の学びはとても貴重な2年間になりました。大学院の講義、様々な実習、課題演習では、教員になるための資質・能力や授業実践力などを身につけることはもちろんのこと、自分自身について様々な視点から見つめ直したことが大学院生活での大きな学びだったと感じています。大学院で学ぶ前の自分と今の自分を比較すると、教師としても一人の人間としても大きく成長したと実感できています。4月からは、これまで学んできたことを最大限に生かしながら、自分らしい教育で子供たちを育てていきたいです。



教職大学院での授業風景



実習風景



大学院生活の思い出

▶福岡県教員採用試験 中学校保健体育合格

中等教育教員養成課程 保健体育専攻4年

にいむらともひろ

新村 智大さん

・福岡県立新宮高等学校出身

中学校の先生になります!

①福教大での学びについて

・課外活動について

私は入学時から4年間、ハンドボール部に所属していました。4年間の部活動を通じて、多くのことを学びました。私たちのチームは、部員が少なく、試合がぎりぎり行えるほどの人数でした。しかし、部員が少ないからこそ、チームで一つの目標に向かう姿勢を身に着けることができました。4年間は、毎回の練習後に、チームの課題を指摘し合う場を必ず設け、練習試合の後には、図書館の学習室を利用して、試合の動画を使っのミーティングを行いました。工夫を凝らしながら、新たな課題にチャレンジし続ける苦勞の繰り返しでした。ただこのことが、仲間と協力して目標を達成することの喜びと大切さを教えてくれました。部活動を通して学んだことを子供たちに伝えていきたいです。

・教育実習について

私は3度の教育実習を通して、これから教員になるにあたって大切なことを一つ学びました。それは準備の大切さです。子供たちの動き、発言を想定し、あらかじめしっかりと目標を立てることが必要です。目標に向けて、しっかり準備をしたつもりでも、授業をやってみると多くの課題が新たに見つかりました。それでもあきらめずに、準備を大切に、授業を繰り返していくと、次第に生徒が授業でいきいきしていくのを感じました。このとき私は、準備があるからこそ新たにやるべき課題が生まれ、その課題に向けて準備することが、また新たな課題を生み出し、成長につながっていることに気づきました。生徒の実態に応じて準備を繰り返していくことが、生徒の目を輝かせることが出来る近道だと学びました。

・教員採用試験対策について

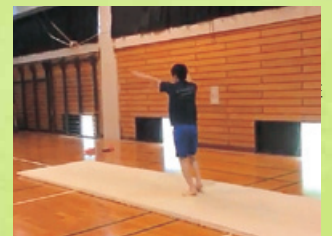
私は、週5回の部活動と週に1回か2回のアルバイトをしながらの受験でした。そこで重要だと感じたことが2つあります。一つ目は、メリハリをつけた生活をするということです。私は1日に勉強する範囲を決め、それが終われば好きなことをするというルールを決めていました。自分の中でのオンとオフをはっきりさせて生活することで、集中力も向上しました。二つ目は、思い悩まず、積極的にいろいろな人とかかわることです。私は、採用試験に向けたグループに3つ入っていました。ほとんどが初対面で、教科、学校種もバラバラでした。しかし、多くの交友ができたおかげで、面接練習などを通し、これまでにない視点や考え方を学ぶことが出来ました。たくさんの練習で多様な考えを学んだことで、本番は緊張せずに臨むことができました。友人たちには、とても感謝しています。



ハンドボール部員全員での集合写真



附属久留米中学校での実習班



採用試験対策の実技練習



クラスでの卒業旅行

②教員として働くことへの意気込みについて

教師という仕事は、中学時代からの夢でした。その夢をかなえることができたということで、1年目ということに甘えずに、自分から、いろいろなことに粘り強く挑戦することのできる教師になりたいです。たくさんの子供たちと出会い、全力で向き合っていきたいと思えます。その中で、うまくいかないことももちろんあると思います。そんな時こそ、自分の持ち味である元気で、もうひと頑張り!もうひと頑張り!と自分を鼓舞して、子供たちと向き合い、私にしかできない指導の仕方、子供たちとのかかわり方を見つけていきたいです。たくさんの子供たちに出会えることを楽しみにしています。

Successful examinee's
message

▶福岡市教員採用試験 特別支援学校 小学部合格

特別支援学校の先生になります!

特別支援教育教員養成課程 初等部言語障害児教育専攻4年

おおつか ひとみ

大塚 仁美さん

・佐賀県立鳥栖高等学校出身

①福教大での学びについて

・委員会とボランティア活動について

私は新入生歓迎実行委員会という、福教大に入学してくる新入生が、安心して学生生活を送れるようにサポートする委員会に所属していました。私がこの委員会の中で学んだことは、コミュニケーションの取り方や、書類作成の仕方などです。夜遅くまでの会議を何度も繰り返し、新入生のために自分たちに何ができるか考えた日々は、私にとってかけがえのない思い出であり、とても勉強になったことのひとつです。

また、私は山の療育キャンプのスタッフもしていました。様々な障害のある子どもたち全員が楽しんでくれるようなキャンプにするため、学生や、ボランティアで来てくださる先生方と一緒に、何度も話し合いを重ねました。キャンプの中で子どもたちの笑顔をたくさん見ることができたことは、とても嬉しく、達成感を感じました。

福教大には授業以外にも、たくさんの楽しいことや、やりがいのあることがあります。自分に合ったサークルやボランティアを見つけ、充実した日々を送ってください。

・教員採用試験対策について

福教大にはキャリア支援センターという、学生の就職を支援してくれる場所があります。教員採用試験の勉強はやり方もわからず、模擬授業などもあったため、1人で勉強することは難しかったです。そこで私はキャリア支援センターが行っている無料講座に出たり、キャリア支援センターで友達と一緒に勉強をしたりしていました。分からないことがあればすぐに聞くことができる環境であったので、とてもよかったと思います。教員採用試験対策でまず必要なものは、「自分の勉強できる環境と時間帯を見つける」ということです。勉強の仕方は人によって違いがあるので、自分に合ったやり方を見つける必要があると思います。私は1人で勉強ができなかったため、午前中から友達とキャリア支援センターに行って、勉強をしていました。しかし、夜は勉強することができなかったので、しっかり睡眠をとっていました。また、勉強だけでは気がめいってしまうので、買い物をしたり、遊びに行ったりもしていました。無理をしない範囲で頑張ることを目標にしていたので、最後までやりきることができたのだと思います。みなさんも福教大で夢に向かって頑張ってください。

②教員として働くことへの意気込みについて

私は春から福岡市の特別支援学校の教員になります。不安はたくさんありますが、今まで応援してくださった先生方や、支えてくださった家族のためにも、期待に応えられるように頑張ります。私の理想の教師像は、「子どもに寄り添うことができる教師になる」ことです。特別支援の子どもたちは障害故の学びにくさを抱えています。私の仕事はその学びにくさを改善し、子どもたちにより良い学びを提供することです。福教大にきて、たくさんの人たちに支えられながら、自分の夢を叶えることができました。今度は私が子どもたちの夢を支える番です。精いっぱい頑張りたいと思います!ありがとうございました。



新歓のイベントで



特支の友達と学祭にて



特支勉強メンバーと



特支勉強メンバーとお疲れ様会



教員採用試験合格者メッセージ

▶福岡県教員採用試験 小学校合格

小学校の先生になります!

初等教育教員養成課程 数学選修4年
やまむら かける
山村 翔さん
・福岡県立明善高等学校出身



私が教員採用試験に向けて取り組んだことについて、2つ紹介します。

1つ目は、グループ学習です。グループで学習することで、自分では気付くことのできなかった問題の傾向や、やるべきことについて明確にすることができました。また、周りの人と一緒に勉強することは想像以上に自分の支えになります。

2つ目は、キャリア支援センターの利用です。特に、集団討論や面接・模擬授業の練習には、積極的に参加しました。いろいろな人と練習する中で、上手な人の技をうまく自分のものにしてください。そうすれば、自然と集団討論や面接・模擬授業はうまくなりますよ。

教員採用試験は大きな壁となると思います。だからこそ、周りの仲間と協同してその壁を乗り越えてください。そして夢を叶えてくださいね。応援しています。

▶佐賀県教員採用試験 小学校合格

小学校の先生になります!

初等教育教員養成課程 家庭選修4年
ひらかわ ゆか
平川 佑香さん
・私立西南学院高等学校出身



私が合格できたのは、情報収集と部活動の経験が大きく関わっていると思います。情報収集として、参考書にはない試験の具体的な内容や流れ等を先輩に教えて頂いたり、受験地の学校ボランティアに参加し、現場を見たり先生方に話を聞いたりしました。その結果、具体的なイメージで試験対策ができたので、試験には自信をもって臨むことができました。部活動では、同じく教師を目指しながら部活の同じ目標に向かって励む仲間の存在が私を高めてくれました。また、チームスポーツの経験や培った力は、教師にとっても大切であり、二次試験では自分をアピールすることができました。自分の受験地の教育や試験内容等をしっかりと把握し、自分のアピールポイントを見つけて頑張ってください!

私は自信をもって臨むことができました。部活動では、同じく教師を目指しながら部活の同じ目標に向かって励む仲間の存在が私を高めてくれました。また、チームスポーツの経験や培った力は、教師にとっても大切であり、二次試験では自分をアピールすることができました。自分の受験地の教育や試験内容等をしっかりと把握し、自分のアピールポイントを見つけて頑張ってください!

▶宮崎県教員採用試験 小学校合格

小学校の先生になります!

初等教育教員養成課程 数学選修4年
まえだ ひろき
前田 啓稀さん
・宮崎県立宮崎西高等学校出身



私は今年、宮崎県と福岡市の教員採用試験を受験しました。その試験の中で特に重要だと感じたことを紹介したいと思います。

それは二次試験の対策です。二次試験は模擬授業や面接、場面指導などの実技試験がメインになっています。実技試験は練習をただけうまくなれます。対策の方法はたくさんあるでしょうが、私は、キャリア支援センターの二次試験対策講座をよく利用させてもらっていました。

最後に、教員採用試験の勉強はすごくきついと思います。もう間に合わない、手遅れだと思って諦めてしまう人もでてくるかもしれませんが、最後まで仲間と支えあって努力をすれば以外と何とかなると思います。将来の自分をイメージしながら夢に向かって頑張ってください。ファイト!

私は今年、宮崎県と福岡市の教員採用試験を受験しました。その試験の中で特に重要だと感じたことを紹介したいと思います。それは二次試験の対策です。二次試験は模擬授業や面接、場面指導などの実技試験がメインになっています。実技試験は練習をただけうまくなれます。対策の方法はたくさんあるでしょうが、私は、キャリア支援センターの二次試験対策講座をよく利用させてもらっていました。最後に、教員採用試験の勉強はすごくきついと思います。もう間に合わない、手遅れだと思って諦めてしまう人もでてくるかもしれませんが、最後まで仲間と支えあって努力をすれば以外と何とかなると思います。将来の自分をイメージしながら夢に向かって頑張ってください。ファイト!

▶愛知県教員採用試験 小学校合格

小学校の先生になります!

初等教育教員養成課程 家庭選修4年
みずの あゆか
水野 亜由香さん
・愛知県立一宮興道高等学校出身



私は、自分の可能性を広げるために、3つの自治体を受験しました。それぞれの傾向の把握、筆記対策、面接対策など、人一倍努力しなければいけないことが分かっていたので、キャリア支援センターの先生方に相談し、自分なりの対策スケジュールを立てました。キャリア支援センターが主催する無料講座に積極的に参加し、そこでできた仲間と一緒に頑張ってきました。

私が特に力を入れたのは、面接対策です。三年生の冬から徐々に対策を始め、試験直前期には、グループの仲間と自主的に練習したり、キャリア支援センターの先生方にアドバイスを頂いたりしました。この練習期間は、教育観を見直したり、自分の強みを見つめ直したりするなど、かなり有意義な時間になったと感じました。

教員採用試験では、この人が今までどんな経験をしてきたのか、どんな人柄なのかなどについて問われます。

これから教員採用試験を受けるみなさん、ボランティア活動や、アルバイトなど、今しかできないことをたくさん経験し、それを蓄積していってください。その経験が活かされる時が必ず来ます。新卒という強みを最大限に活かし、本番まで全力で挑んでください。

Successful examinees' messages

▶三重県教員採用試験 中学校合格

中学校の先生になります!

中等教育教員養成課程 書道専攻4年
くらもと ゆり
蔵本 侑里さん
・私立広島女学院
中学高等学校出身



出身地ではない県を志望するにあたり、3年生の頃は主に1人で過去問分析などに取り組んでいました。そんな私にとって大きな転機は、4年の講座の中で行われた、集団討論のグループ分けです。私は三重県と同じく一次試験で集団討論のある福岡県のグループに入らせてもらいました。今まで机にばかり向かっていた私にと

って、このグループメンバーとの出会いは今でもかけがえないものです。試験の傾向や時事問題、そして時にはたわいもない話まで、メンバーのみんなと過ごした時間はとても有意義なものでした。それ以外の時間は1人で専門教科の勉強に励むなど、メリハリをつけて勉強できたことが、合格できた理由だと思います。教採は個人戦でもあり、団体戦でもあります。「絶対に合格するんだ」という強い意志を持ち、仲間と高めあっていくことが大切なのだと、身をもって学ぶことができました!

▶福岡県教員採用試験 中学校合格

中学校の先生になります!

中等教育教員養成課程 保健体育専攻4年
たぐち ひろし
田口 裕士さん
・福岡県立
戸畑高等学校出身



私が、教員採用試験に合格できた理由の第1にチームで勉強したということが挙げられます。教員採用試験は1人での戦いと思いがちですがそれは違います。周りの仲間と協力することが大切です。教員採用試験は情報戦です。1人で情報を集めようと思っても、たいした量にはなりません。しかし、何人かの仲間ととも

に情報を集めると1人で集めた情報の何倍もの情報を集めることができます。また、勉強がしたくない時期がきても、仲間と励ましあうことで、また頑張ろうという気持ちになることができます。このように仲間とチームを作って勉強することで、勉強効率も上がり、精神的にも安定した結果、教員採用試験に合格することができました。

▶香川県教員採用試験 特別支援学校合格

特別支援学校の先生になります!

特別支援教育教員養成課程 初等部病弱児教育専攻4年
おけかわ まさこ
桶川 方子さん
・徳島県立城ノ内
高等学校出身



私が教員採用試験に合格できたのは、キャリア支援センターの先生方、友人など周りの方々に支えて頂いたおかげです。キャリア支援センターが主催の講座では、一般、教職教養の要点を詳しく教えていただき、集団討論やグループワーク、面接に志願書の添削など幅広く指導していただきました。また、挫けそう

になった時、先生に相談をすると、「大丈夫だよ」と励ましてくださり、とても心の支えになっていました。友人と、同じ目標に向けて共に勉強したり、励まし合ったりすることも、最後まで諦めず試験に挑むことができた理由です。これから受験をする後輩のみなさんは、積極的にキャリア支援センターを活用して、周りの人々と協力しながら頑張ってください!

▶福岡市教員採用試験 特別支援学校合格

特別支援学校の先生になります!

特別支援教育教員養成課程 初等部肢体不自由児教育専攻4年
なべしま
鍋島 ももこさん
・福岡県立
香住丘高等学校出身



合格できた一番の理由は、周りの人のサポートがあったからです。友達と毎週目標を立てて楽しく試験対策をしたり、キャリア支援センターの先生方に「また君か」と言われてしまうほど、積極的にアドバイスを受けに行ったりしました。いろいろな人と関わり、いろいろな話す機会が多かったため、勉強面だけでなく心理面の

安定も図ることができました。それでも時には自信を失うこともありましたが、思いっきり休憩したり、「何のために教師を目指しているのか」を振り返ったりして、気持ちを切り替えていました。

試験対策をする中で大変なこともあります。周りを頼ったり、立ち止まって自分自身を見つめなおしたりすることで乗り越えてほしいと思います。



福教大の教員紹介



3年前の自身の夢と、3年後の自身の反省に、今日一日の自分をCheckしてもらおう。



学校教育講座

教授 飯田 史也

出身地 / 広島県

最終学歴 / 広島大学大学院

教育学研究科博士課程後期

取得学位 / 博士(教育学)

本学兼任 / 1989年

1. 専門の研究テーマについて

「仏語系専門学術人材」という飯田自身の造語をもとに、とくに明治期の日本の高等教育が、フランス語という語学をベースにしつつ、フランスからどのように専門学術の受容を行ってきたのかを明らかにするのがライフワークです。あまり知られていないのですが、明治初期の日本では法律、造艦、工兵・砲兵、土木・建築等の分野でフランスの専門学術を取り入れています。しかし明治中期以降これらの学術移入国はイギリス、ドイツ、アメリカ等へと切り替わってしまいます。「独語系・英語系専門学術人材」などとの比較をもとに、その理由を考察することも研究課題の一つです。

2. 大学教員に進むことになったきっかけについて

私は、2歳のときに父を交通事故で亡くしました。大学1年の夏休みの「交通遺児育英会」の大学奨学生合宿で、自分がどれだけ社会の善意に助けられて修学しているのかということ思い知らされ(詳細は本学健康科学センターの『Message』No.110に書きました)、おかげで1年生後期からは4年間無遅刻・無欠席の優秀な学生となりました。ま、実際には実家も大学通用門まですぐのところだったので、

卒業論文を書くときに、恩師のおかげで教育史研究の楽しさに目覚め、その勢いで大学院に進学してしまい、それはもう不肖の弟子でしたが、そのまま今に至っているというわけです。

3. 研究成果の教育への還元について

私は福岡教育大学の留学生専門教育教員なので、「日語系専門学術人材」ともいえる現在の留学生たちの教育に自身の研究成果を活かすよう務めています。

また研究領域ではないのですが、息子が知的障害児なので、父親としての想いと経験とを構造化(客観化・相対化・一般化)して、授業のみならず免許更新講習などでもお話するようにしています。

4. こだわりの物・考え・モットーについて

母子家庭でしたが、大学院まで行かせてくれた母には感謝しています。停年まで勤め上げたその母も、夭折した父も、広島大学の事務官だったので、私も国立大学の事務職についてはよく理解しているつもりです。それで仕事のモットーは事務職員の皆さんとの「チーム福教大」なのですが、毎日ご迷惑をおかけしてばかりです。

附属小倉小学校校長の3年間には、7つの附属学校園の先生方や、保護者の皆さんに日々援けてもらいました。この時培った人間関係を大切に、何か恩返しできないか考えています。

中学校と大学の吹奏楽部、高校のオケでは、ずっとホルンを吹いていました。「昔取った杵柄」で、附属小倉小学校長の時に「部活における附属小・中連携の一環」として参加して以来毎年、附属小倉中学校の吹奏楽部の定期演奏会に出させてもらっています。もちろん演奏技術は生徒たちのほうが上です。

また妻は、息子の子育ての、強力なバディでありライバルです。

5. 福岡教育大学で学ぶ学生に一言

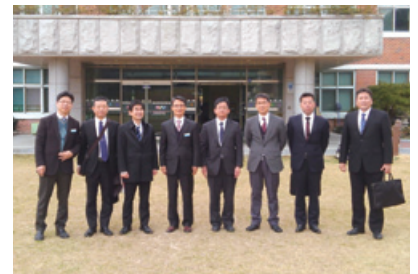
自分が、文系である理系であるといった高校までの進路選択に基づく意識を捨てて、幅広く様々な学問領域に興味を持ってほしいと思います。

学生から見た先生の魅力について

飯田先生は、穏やかでとても優しい先生です。私たち学生をたくさん褒めてくださるので、先生とお話をしていると何事も前向きに積極的に取り組もうという気持ちになります。また、先生はいろんな分野に精通されていて、どんな話題でもすぐに返答をくださる大変博識な方でもあります。そんな先生がいらっしゃるルームは海外からの留学生も多く在籍(現在は4人)しており、3、4年生、院生、協定留学生共に意見を自由に交わし合うことができる、落ち着いた雰囲気の良い楽しいルームです。

はりま ゆみ

針間 有美さん 共生社会教育課程国際共生教育コース



都合8度目の訪問となった釜山教育大学校附設初等学校
小倉・福岡・久留米附小の先生方、北村附属学校課長と



附属小倉小学校校長1年目のころ



飯田ルーム所属の3、4年生・院生・協定留学生
(各自の空きコマごとに2枚撮影)

子どもの特性に寄り添える教育者に



特別支援教育講座

准教授 倉光 晃子

出身地/大分県

最終学歴/筑波大学大学院博士課程

取得学位/博士(学術)

本学着任/2013年

1. 専門の研究テーマについて

知的障がいや自閉スペクトラム症の人たちの行動面の問題に対する、『応用行動分析学』という人の行動の枠組みを基にした支援法について研究しています。知的障がいや自閉スペクトラム症の人たちは、自分の思いや訴えをうまく表現できず、また多様な環境や状況に適応することが困難です。そのような特性と生活環境との不調和から生じる自傷行動、他害行動や破壊的な行動等の『行動問題』は、早急に軽減の手を打たなければ周囲が対応困難となり、ご自身の生活の質も損なわれてしまいます。『行動問題』は幼児期、学齢期の困難さの積み重ねで大きくなりますので、教育の中で着手すべきことが多くあると考えています。

2. 大学教員に進むことになったきっかけについて

大学ゼミの臨床活動での、ある激しい行動問題を示す自閉スペクトラム症の方との出会いがきっかけでした。学齢期から自分の手で顔を強く叩き続けて片目が失明していた方で、私はこの方の自傷行動と起こす前後の状況との繋がりを分析して、その行動の意味を見出す方法を学びました。「行動の意味にもっと早く気づけていたら今の状態は避けられたのではないかな…」私にも自閉スペクトラム症のきょうだいがいますが、同じ障がいなのにこんなにも状態や生活の在り方が違うこと、またその違いには当事者を取り巻く環境が大きく影響していることを知って衝撃を受けました。教師や支援者も障がいのある人にとって重要な一環境、障がいのある人に適した指導・支援を行える人材の育成に携わりたいという気持ちが高まり、今があります。

3. 研究成果の教育への還元について

私のルームに所属する学生には、特別支援教育センターで実施している教育相談(療育活動)に参加を促し、知的障がい、発達障がいの子どもの対象に、応用行動分析学を基にした指導法を実践的に学ぶ機会を作っています。子どもの課題を環境や状況との繋がりに見出し、目標や指導の手立てを指導案に具体的に示し、指導成果を客観的に残すという一連の流れの体験を通して、応用行動分析学を指導に活かす意義を学んでもらえたらと思っています。子どもがうまくできた時に、学生が満面の笑みで『よくできたね!』と子どもを褒める姿を見た時、その意義が伝わったかなと思う瞬間です。

4. こだわりの物・考え・モットーについて

障がいのある方と向き合う時も、学生と向き合う時も、その人の『強み』を見つけることを大切にしています。また、良い行動が見られれば『褒める』『評価する』ことを心がけています。人の『強み』を知り、『強み』を高めることは教育にも必要な視点だと思います。

5. 福岡教育大学で学ぶ学生に一言

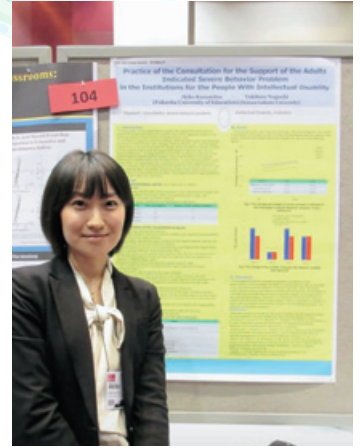
特別支援を要する子どもの特性は実に多様です。子どもが抱える課題を、子ども自身の問題だとするのはなく、「どうしてそうなのか」「どうしたらよくなるか」を環境から見出すアンテナを持って、子どもの特性に寄り添える教育者を目指して欲しいと思います。

学生から見た先生の魅力について

倉光先生は、温厚な性格で話しやすく学生思いの先生です。学業以外のことで親身に話を聞いてくださるので、時間を忘れて話過ぎてしまいます。療育活動の際は、多角的な視点からご指導をしてくださいます。そんな先生は、私たちの憧れでもあります。倉光先生のもとを離れるのはとても寂しく不安ですが、立派な教員になることで恩返ししたいです。

おがた みつき

緒方 美月さん 特別支援教育教員養成課程
初等部知的障害児教育専攻4年



2014年5月
国際行動分析学会発表(アメリカ シカゴにて)



2015年7月
ヨーロッパ心理学会参加(イタリア ミラノにて)



2016年3月
世界自閉症啓発デー 記念講演(台湾 台北にて)



センター教育相談の様子
(相談前の事前打ち合わせ風景)



4年生と一緒に

福教大 NEWS 1 ▶▶ 「教育大へ行ってみよう!」を開催

平成29年11月12日(日)に、学内にて大学開放推進事業「教育大へ行ってみよう!」を開催しました。

この事業は、小・中学校の休業日に大学を開放し、「科学」「ものづくり」や「音楽」など、様々なテーマをもとにした実験や実習を間近で見る、または実際に体験することで、子どもたちに「科学の不思議さ」「作り上げていくことの達成感」「音楽の楽しさ」などを味わってもらうことを目的として、平成11年度から実施しています。

九州旅客鉄道株式会社(JR九州)やトヨタ自動車九州株式会社、コスモ・バイオ株式会社公開講座応援団、そして子どもゆめ基金助成活動の協力・協賛のもと、科学実験・体験、ものづくり・音楽体験企画として18のコースを実施し、子どもとその家族合わせて約1,500名の参加がありました。

当日は天候にも恵まれ、各会場では、大学生や教職員の実演や説明を熱心に見聞きし、科学やものづくり等の楽しさに触れるたび、身乗り出しながら目を輝かせる子どもたちであふれていました。

参加した子どもたちから、「お兄さんお姉さんが分かりやすく教えてくれて楽しかった。」「いろいろ知ることができたと、楽しかった。また来年も来たい。」「大学の中には、楽しいことがいっぱい、今日ここに来て良かったと思いました。」との声や、保護者の方からは、「とてもわくわくする様な体験ができて子どもも楽しんでいました。」「大学でどんな勉強をしているか、どんな所か、子ども自身が感じられる場でした。」「子どもが小学1年生なのでまだ難しいところも多かったけど、来年、再来年の楽しみもありました!さすが、教育大の学生さんだけあって子どもに対して優しく、とても気持ちの良い対応をして下さいました!ありがとうございました。」など、沢山の嬉しい言葉をいただきました。



折り紙で立体をつくらう



植物バイオから広がる科学のふしぎな世界(2)



やってみよう!おもしろ化学実験



羊の毛からつくってみよう

福教大 NEWS 2 ▶▶ 平成29年度ボランティア活動報告会を開催

平成29年11月10日(金)、「平成29年度第3回福岡教育大学学生ボランティア活動報告会」を開催しました。報告会には、ボランティア活動を行う学生を多く受け入れていただいている近隣地区(宗像市、福津市、福岡市、岡垣町)の教育委員会関係者の方々、ならびに宗像地区、糟屋地区、遠賀郡の各地区小中学校長会の会長の方々、学内からは学生と大学役職員、後援会事務局職員等、合わせて約210名の参加がありました。

はじめに、学生ボランティア活動認定学生の表彰式を行い、「平成29年度前期チーフ認定者」の16名及び「平成29年度前期サポーター認定者」の46名が、学生ボランティア活動推進本部長の池田理事から表彰されました。次に、木原ボランティアコーディネーターから学生ボランティア活動の重点的な取組と展望について説明があった後、近隣地域の子どもの学習支援を行う地域支援ボランティア、遠賀町や宗像市の小学校での学習支援ボランティア、特別支援サークルにおける行事の企画や活動への参加など、様々なボランティア活動経験者4名による実践報告を行いました。活動経験者からは、ボランティア活動を通して、子どもたちとの接し方への気づきや学びを得られ、自分自身の成長を感じたことや、保護者や地域の方々との連携することの重要性を感じたこと、また、ボランティア活動の経験を通して、教員になりたい気持ちがより高まったこと等、意欲的な発表が行われました。加えて、岡垣町教育委員会の佐々木教育長より、「多くの学生からボランティア活動に参加してもらい、大変助かっています。ボランティア活動での経験を、大学生活だけではなく、教員となってからも存分に活かしてください。」と励ましのお言葉をいただきました。最後に、本学のボランティア活動を積極的に推進している井上教授から講評と今後の展望が示されました。



表彰の様子



学校支援ボランティアの活動報告

福教大 NEWS 3 ▶▶ 第52回福教大祭を開催

平成29年11月18日(土)～19日(日)の日程で大学祭である「福教大祭」を開催しました。

今年度の大学祭も、福教大祭実行委員の学生たちが中心となり、小学生以下の子どもを対象としたイベントをはじめ、老若男女すべての方に楽しんでいただけるように様々なイベントを用意し、大盛況の2日間となりました。

ご来場いただいた皆様、どうもありがとうございました。

福教大祭実行委員長からのコメント

第52回福教大祭で実行委員長を務めさせていただきました、初等教育教員養成課程1年の好中太二郎です。福教大祭に関わってくださった全ての方々のおかげで、今年度も福教大祭を成功させることができました。ご理解・ご協力、本当にありがとうございました。

今年度の福教大祭のテーマは、『Go to UTEF fes!!～心に残る最高の日を～』ということで、来ていただいた全ての方々に一生の思い出に残る最高に楽しめる福教大祭にしようと、学祭STAFF一同、準備に励みました。そして、学祭当日では、ステージでの活気に溢れたパフォーマンスや様々な企画を楽しむ来場者の笑顔などのすべてが、私にとっての最高の思い出となりました!なにより、脈々と受け継がれてきた伝統ある福教大祭を17人の学祭STAFFと共に運営することができたことを本当にうれしく思います。

第52回福教大祭が来年度以降の福教大祭へとつながる架け橋となるよう、さらに良いものとなるよう、これから新たな一歩を踏み出していきたいと思います。来年度以降の福教大祭でも、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

よしなきたいじろう

第52回福教大祭実行委員長 好中 太二郎
(初等教育教員養成課程1年)



福教大 NEWS 4 ▶▶ 平成29年度福岡教育大学防災講演会を開催

平成29年12月15日(金)、本学教育総合研究所内にて、宗像地区消防本部警防課主幹兼警備課長の北野真市氏を講師にお招きし、「平成29年度福岡教育大学防災講演会」を開催しました。

本講演会は、防災に関する知識を学ぶことにより、学生・教職員の防災意識を向上させ、災害等発生時の被害の軽減を図るとともに、学生が将来、教員になった際に、自分だけでなく子どもたちの命を守ることを意識した行動に繋がるなど、教員として必要な資質能力の獲得に寄与することを目的として開催したものです。

北野氏からは、「防災に関する基礎知識と災害時にとるべき行動について」と題して、防災に関する用語や熊本地震、九州北部豪雨等の災害事例、災害現場での消防隊の活動の様子を写真や映像を交えながらご説明いただき、防災における、地域の伝承を含めた日頃の情報収集の大切さ、災害発生時における、自助・共助の重要性などについて、ご講演いただきました。

講演会には、学生・教職員あわせて249名が参加し、参加者からは、「災害の恐ろしさを改めて考えさせられた」「防災に対する意識が変わった」「実際に災害現場に行った方の貴重な話を聞いて良かった」「将来、教員になった際、子どもたちの命を守れるよう、今のうちから防災について学んでいきたい」といった声が聞かれました。

本学では、今後も防火・防災等への意識向上へ向けた活動を積極的に推進して参ります。



講演をする北野氏



講演会場内の様子

福教大 NEWS 5 ▶▶ 平成29年度福岡教育大学学生表彰式を挙

平成30年2月19日(月)に、平成29年度福岡教育大学学生表彰式を行いました。

本表彰は、研究、課外及び社会活動等において、特に顕著な成果や功績を収めた本学学生及び学生団体を表彰するもので、今年度は6名の学生と4つの学生団体が表彰の対象となりました。

表彰式では、本学後援会会長、役職員及び指導教員・顧問教員が見守る中、対象となる学生及び学生団体の代表者に、表彰状と副賞が贈呈された後、櫻井学長から祝辞が述べられるとともに、後援会会長からお祝いの言葉をいただきました。また、学生代表として、大学院教育科学専攻・教科教育創造コース・技術教育領域2年の瀬尾佳良さんから「それぞれの活動での成果は、大学の環境及び周囲の方々の後押しによるものです。今後、自らの能力を高められるように研鑽に努め、さらなる飛躍を期したいと思います。また、後援会よりいただいた副賞は今後の課外活動、研究活動のために使います。」との感謝の言葉と抱負が述べられました。



学生表彰受賞者と学長(中央右)、後援会会長(中央左)及び関係者

福教大 NEWS 6 ▶▶ 「平成29年度福岡教育大学優秀教育実習生賞」表彰式を挙

平成30年2月19日(月)に「平成29年度福岡教育大学優秀教育実習生賞」表彰式を挙

行いたしました。この賞は、「実習生としての教育的愛情、使命感の自覚、授業や学級運営等における教育方法の創意工夫、そして同僚と協同しながら切磋琢磨してきた数々の努力と工夫に敬意を払い、その功績を称える」ことを目的として創設され、本年度は9名の学生が受賞いたしました。

表彰式では、櫻井学長から、受賞した学生一人一人に表彰状及び後援会からの記念品が贈呈された後、「質の高い教員養成という理念を掲げる本学にとって、皆さんの頑張りは、実に頼もしい限りであり、今回の表彰を機に、「教師になる」という思いを一層強く掲げ、自己自身の研鑽に励むとともに、友人や後輩たちにもよい刺激を与えていただきたい。教員採用試験合格に向けてがんばってください」と激励がありました。

その後、学生の代表から、「この賞を受賞できたのは、附属学校の先生方をはじめとし、教壇に立つ準備を支えてくださった大学の先生方や様々なアドバイスをくださった先輩方、互いに激励し合った仲間、そして毎日キラキラした笑顔に向けてくれる子どもたちの存在のおかげです。」と感謝の気持ちが述べられました。また、「実習中は、難題と向き合う場面もありましたが、この実習を経て、自分の目標とする教師像を明確化することができました。この経験を得たことに感謝し、今後も目標に向けて努力し続けたいと思います。」と力強い謝辞がありました。

表彰式終了後は、学長、理事をはじめご来賓の中野福岡教育大学後援会会長、各附属学校・園から出席いただいた校長・園長、大学指導教員と写真撮影を行いました。



平成29年度優秀教育実習生賞表彰式

猿娘（さるむす）

私たち、女子フットサルサークル『猿娘(さるむす)』は、昨年の4月に発足しました。今はまだ歴史が浅く、メンバーも少ないですが、笑顔の溢れる、素敵なサークルです。

メンバーは平成28・29年度入学生を中心に構成され、プレイヤーとマネージャーがいます。週に2回、赤間のくりえいと宗像やJOYFIELD15で練習を行っています。フットサルサークル「塊(かたまり)」やサッカー同好会「軍侍(しゃむらい)」のメンバーに協力していただき、基本的なことから戦術的なことまで練習しています。今年度は、レディースチームとの練習試合を行い、また、男女混合の大会に参加しました。JOYFIELD15で開催された【第1回あんだるcup】のミックス部門(男女混合)では、優勝し、得点王などの個人賞もいただきました。



女子のフットサルはあまり浸透していませんが、フットサルは女性、初心者でも楽しむことができ、奥が深く、面白いスポーツです。『猿娘』には初心者も経験者もいますが、メンバーに共通していることは、すべてにおいて全力ということです。メンバーそれぞれがひたむきに練習に励んでおり、チームのことを真剣に考えています。オンオフの切り替えがしっかりしているため、試合や練習では全力でプレーし、それ以外で楽しむ時は全力で楽しむチームです。

これからも猿娘らしく元気に活動していこうと思いますので、ぜひ応援よろしく願いいたします。

初等教育教員養成課程 1年 村木 咲音

おでかけ！いろは書会

私たち『おでかけ!いろは書会』は、幼稚園や保育園、小・中学校、高校へ行き、書写・書道を通して「文字を書くこと」の大切さを伝えていくことを目的としたボランティアサークルです。昨年の春に発足し、現在12名で活動しています。

現在の主な活動内容は、幼稚園や小学校で、書写指導のサポートをすることです。宗像市内の小学校へ行き、書写の授業において、お手本書きや机間指導などのお手伝いをさせていただいています。小学校では、「文字を書くこと」を通して子どもたちと触れあうことができる上に、私達自身も学ぶことが多く、毎回とても充実した時間を過ごしています。



情報機器が発達して手書きに触れる機会が少ない今日だからこそ、「文字を書くこと」の大切さをともに伝えていきたいと思います。

『おでかけ!いろは書会』は一緒に楽しく活動していくメンバーを募集中です。文字を書くことが好きな方、子どもが好きな方、字が上手になりたいという方、誰でも大歓迎です。興味のある方は、ぜひ気軽に声をかけてください。

中等教育教員養成課程 書道専攻 1年 小宮 昂大



学校、教育委員会等との連携

福岡教育大学では、学校、教育委員会及びその他の機関・団体との連携事業や共同研究を推進し、その成果を積極的に社会に還元します。

連載第19回

平成29年度 教育総合研究所 研究プロジェクト 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づく中堅教員資質向上研修の開発に関する調査研究

研究代表：教育総合研究所 所長 清水 紀宏

教育総合研究所の研究プロジェクト

本学では、「教育総合研究所」(所長:清水紀宏副学長)を設置し、6つの研究部門において研究プロジェクトを実施しています。平成28年度から設置した「九州教育研究連携・共同部門」において、九州各地域の教育課題の解決に資する現職教員の研修のあり方や学力の実態分析に基づく学力向上の推進に資する研究プロジェクトを実施しています。今回はその中から、平成29年度に文部科学省より受託した調査研究事業「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業～研修の一体的改革推進事業～中堅教員の育成」に基づく研究プロジェクトについて紹介します。

中堅教員の育成を目指した研修の開発に関する調査研究の概要

平成28年度に「教育公務員特例法等の一部を改正する法律」が施行されました。この改正法によって、教員の採用や研修を担う教育委員会と教員を養成する大学とが協働して、約40年間にわたる教員のキャリアに応じて身につけるべき能力の目安としての「指標」を策定することが本年度から求められています。本調査研究は、昨年度、教育総合研究所で受託した調査研究事業「総合的な教師力向上のための調査研究事業」において策定した「校長及び教員としての資質の向上に関する指標モデル」に基づき、九州各県・政令指定都市の教育委員会及び大学と連携・協議の上、中堅教員の資質向上を目指した研修の開発を目的として展開するものです。

中堅教員の研修については、改正前の教育公務員特例法において、「十年経験者研修」と規定され、採用後10年を経過した先生たちに研修を実施することとなっていました。改正後は、この「十年経験者研修」に替わって、「中堅教諭等資質向上研修」を実施していくことが求められています。

条	旧	新
第24条	<p>(十年経験者研修) 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等に対して、その在職期間が十年に達した後相当の期間内に、個々の能力、適性等に応じて、教諭等としての資質の向上を図るために必要な事項に関する研修(十年経験者研修)を実施しなければならない。</p>	<p>(中堅教諭等資質向上研修) 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じて、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修(中堅教諭等資質向上研修)を実施しなければならない。</p>

教育公務員特例法の改正前後の条文の比較

この流れを受け、教育総合研究所の磯部年晃准教授を中心とした研究チームにより、次の4点から調査研究を進めてきました。

- 中堅教員に求められる資質・能力とは何かを明らかにすること
- 中堅教員研修に関して何が課題なのかを明らかにすること
- 先進的な中堅教員研修の事例を調べ、共通する考え方や要素を明らかにすること
- それぞれの学校で行うOJT研修、テーマを決めて講義や演習で行うOFF-JT研修を関連づけた中堅教員資質向上研修モデルをつくり試行すること

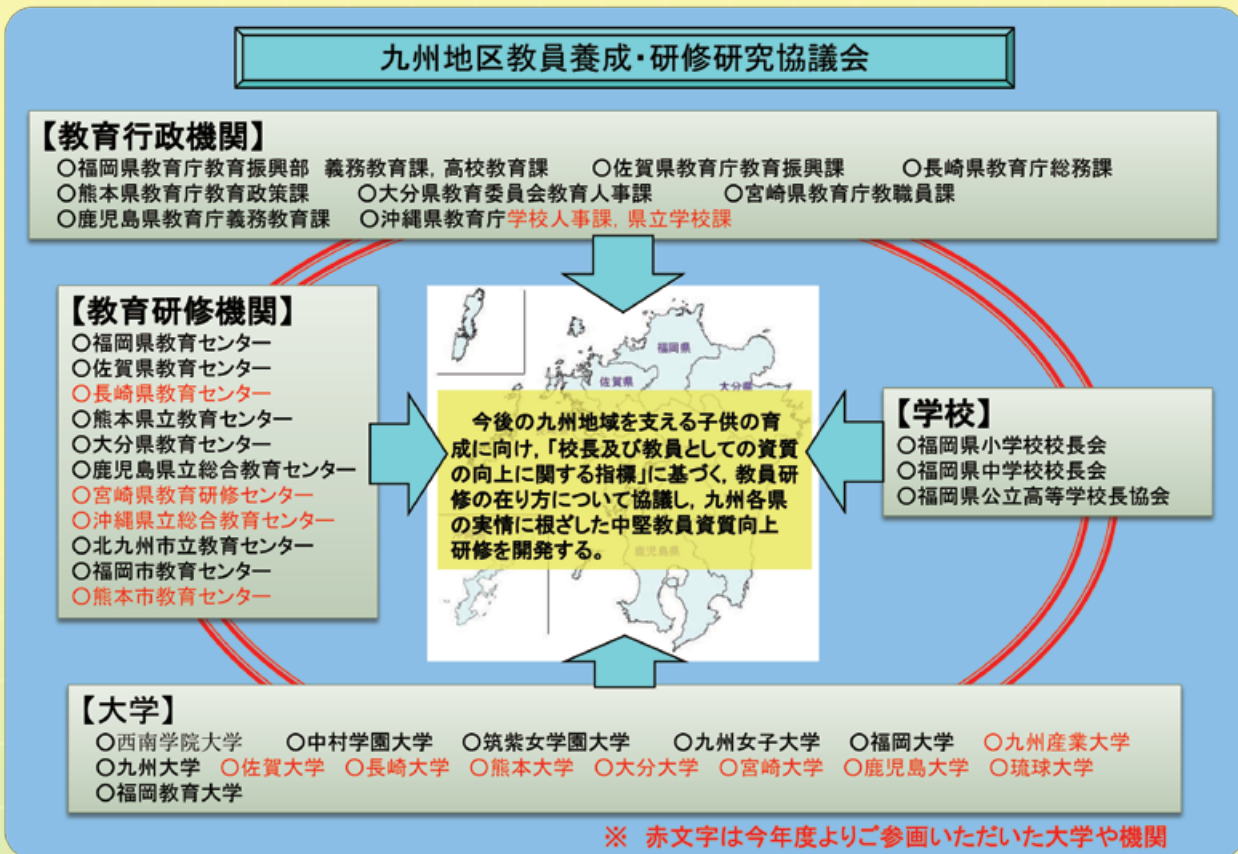
「九州地区教員養成・研修研究協議会」の開催による研究推進

本調査研究を進めるにあたり、昨年度の調査研究において立ち上げた「九州地区教員育成指標研究協議会」を拡充・発展させた、「九州地区教員養成・研修研究協議会」を継続的に開催し、研究を推進してきました。教員養成に関わる県内の国・私立大学の研究者に加えて、九州地区全8県の国立大学教育学部の研究者にも参加して頂いています。また、九州地区全県・政令指定都市の教育委員会関係者、小中高等学校の校長会の代表にも引き続き委員をお引き受けいただき、九州全域の教員養成・教員研修に関わる研究者、教育関係者が一堂に会する研究協議会となっています。この研究協議会を平成29年度は4回開催し、九州地区各県の現状や課題をもとに、情報交換、協議を行い、中堅教員に求められる資質・能力はどういうものか、効果的な研修のあり方はどうあるべきか、等について検討を進めています。



九州地区教員養成・研修研究協議会の様子

平成29年度文部科学省「教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業」 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づく 中堅教員資質向上研修の開発に関する調査研究



九州地区教員養成・研修研究協議会の構成

今後の研究推進に向けて

「指標に基づく教員研修についての体系的な仕組みづくり」はまだ緒に就いたばかりです。本調査研究は、九州地区の教員養成を行う大学や教育委員会との連携・協力のもと事業を展開することにその意義・特色があります。県及び政令指定都市の枠を越えて、オール九州で進めていること、またそれを大学における研究事業として推進しているところが大きな特徴です。「九州地区教員養成・研修研究協議会」での検討・協議により、九州の現状に即した教員研修についての課題の整理ができつつあります。「義務教育諸学校に関する教員養成機能における九州地域の拠点的作用を担う」という本学のミッション(国民の皆様へのお約束)を果たすべく、これらの課題の解決に向けて、九州各地域の教育関係者が知恵を出し合い、指標に基づいた研修のあり方についての研究推進を充実させ、九州地域を支える子供の育成につながる取組みへと発展させていきたいと考えています。



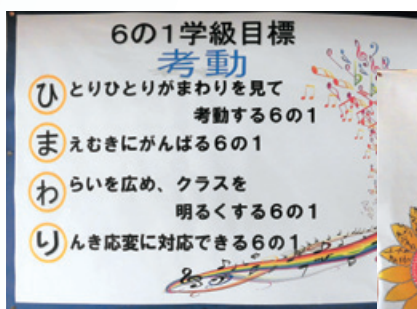
算数科の授業風景



道徳の授業の様子



理科の授業の様子



学級目標と振り返り

今年度、初めて学年主任を務めています。子どもたちをこの1年間どのように育てたいか「ゴール像」をしっかりと持ち、指導する大切さを改めて感じています。同学年の先生と子どもたちのことについて語り合いながら共通理解を図っています。「1年後、こんな子どもたちになってほしい」という思いを胸に、教師と子どもたちが「チーム6年生」として、日々成長を続けています。同じ方向を向いて進むことで、学年全体の意識が高まり、チームの結束力が上がることを感じています。

授業を大切に

「教師は授業で勝負する」。この言葉は、私が初任者のときから研修等で聞いていた言葉です。授業を通して、子どもたちは多くのことを学び、成長していきます。その成長を支えるためには、教師自身も学び続けることが重要だと考えています。授業力向上のために校内研修による代表授業、研究発表会での授業、教科の専門性を高める教科等研究会での授業など、多くの先生方に授業を見ていただいたり、先輩方や若い先生方の授業を参観させていただいたりしながら日々研鑽を積んでいます。

このように学び続けることができるのも、子どもたちの「わかった。」「できた。」と喜ぶ姿が、私の力の源になっているからです。子ども

たちの人生の1ページを担う一人として、これからも共に成長していきたいと思っています。

大学生のみなさんへ

今しかできない、いろいろな経験を積んでください。卒論研究、小学校でのボランティア活動、アルバイト、サークル活動、旅行などいろいろなことを大学時代に経験してきました。「将来には関係ないだろう」と思ったことでも、意外と教師をしている中で役に立つことがあります。だからこそ、自分がやりたいことに時間を使える今を大切に、充実した大学生活を送ってください。



新宮町立新宮東小学校
たなか こうじ
教諭 田中 幸司さん
平成18年3月
中等教育教員養成課程
理科専攻卒業



授業実践発表①



授業実践発表②



体育大会にて、警備の係

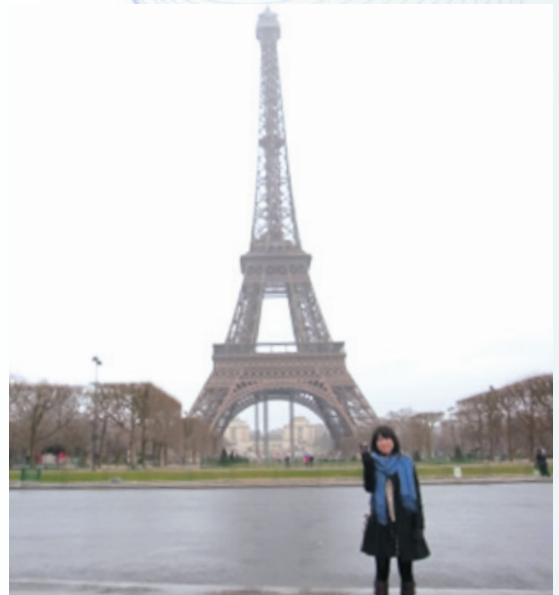
教師になって・・・

4年目になりますが、いろいろと失敗はします。例えば、体育大会の横断幕づくりです。私は生徒会担当をしており、屋上から垂らす横断幕を生徒と共に作りました。しかし、サイズを測り間違え、できたものは地面に届いてもなお余る程、長いものを作ってしまった。そんなとき、多くの先生方に助けてもらいなんとかになりました。この経験を踏まえて、いつも心掛けていることは、「感謝の気持ち」と「笑顔」です。多くの先生方に助けをもらい、また、支えてもらっています。いつか私もそういう先生の一人になりたいという目標を持って、今頑張っています。

専門性について

「美術が楽しい!」この言葉が本当に嬉しいです。美術は、高校になると選択科目になることがほとんどです。しっかりと美術について学ぶ機会は、生徒にとって、もしかしたら人生で最後になるかもしれません。そう思うと、すごく責任のある仕事だなと感じます。

どうすればもっと美術が好きになってもらえるか。「楽しい!できた!」と感動してもらえるか。そう考えながら授業を構想しています。まだまだ未熟ですが、今の自分ができるだけのことを精一杯やっています。



大学時代 友人とフランスに。美術作品を見に行く。

学生の皆さんへ

4年間という時間を自分のために自由に使えるのは今しかありません。とにかく興味のあること、バイト、旅行、読書などなどなんでもいいです。思い立ったら即行動してみてください。将来、何が役に立つかわかりません。いつか、どこかで一緒に働けることを楽しみにしております。



北九州市立湯川中学校
たかはるな
教諭 田川 晴菜さん
平成26年3月
生涯スポーツ芸術課程
美術コース卒業



平成29年度福岡教育大学 いじめ防止研修会を開催しました。

平成30年3月3日(土)13:15～16:40、福岡教育大学アカデミックホールにおいて平成29年度福岡教育大学いじめ防止研修会を開催し、教職員、学生、福岡県内外学校関係者や地域の方からの参加がありました。(参加者数:138名)

本研修会では、大坪靖直教授より、「いじめ根絶をめざすアクションプログラム」における取組状況について、附属福岡小学校の齋藤淳教諭より、現行の教科で扱ういじめ予防に資する一連の授業案、「いじめを生まない授業づくり」について事業報告を行いました。

大坪教授と附属福岡小学校の平井教頭、二串教諭、齋藤教諭のディスカッションでは、「いじめを生まない授業づくり ～このような授業を行うと、なぜいじめ防止に寄与できるのか～」について議論がなされました。

実践研究発表では、本学教職大学院生徒指導・教育相談リーダーコース2年(北九州市立菅生中学校教諭)の木村敏久教諭より、「中学校におけるいじめ防止のための心理教育プログラム実践 ～いじめを深刻化させないための取組～」について実践研究発表を行いました。

最後に、鳴門教育大学いじめ防止支援機構長の阿形恒秀教授より、「いじめ防止対策の要点 ～いじめ認知の難しさと大切さ～」について講演を行いました。

この研修会で本学の取組の現状報告を行うとともに、いじめを生まない授業づくり等についての提案ができ、大変有意義な研修会となりました。

本日いただいた意見を参考にして、今後もBPプロジェクト(※)を継続して参ります。

※我が国のいじめ問題の根本的な克服に寄与するため、平成27年度に宮城、上越、鳴門、福岡の4教育大学の協働参加でスタートしました「いじめ防止支援プロジェクト(BPプロジェクト(Bullying Prevention:いじめ防止))」は、関係機関等の協力を得て、教育委員会担当者及び学校教員等を対象に講演や研修会、シンポジウムなどを行っています。



平成29年度福岡教育大学いじめ防止研修会の様子

表紙モデルの福教大生☆

今回の表紙は、教員採用試験に合格され、この4月から教員となるみなさんとキャリア支援センターの先生方にご登場いただきました。特集の中でそれぞれの思いをメッセージとして寄稿いただいています。

授業や教育実習を通した本学での学び、教員採用試験対策、ボランティア活動など、これから教員採用試験を受験するみなさんにとって、大変参考になるものではないでしょうか。

合格者のみなさんは、この春からそれぞれの学校で、教員生活がスタートします。

本学での経験を糧に、これからも信念を持って学び続け、様々な課題に対応できる、力のある教員に成長してほしいと心から願っています。



福岡教育大学基金のご案内

福岡教育大学では、教育研究の更なる発展や充実を図ることを目的として、「福岡教育大学基金」を設けております。つきましては、広く教育界、産業界、地域の皆様方に、本基金への格別のご理解とご支援を末永く賜りたく、お願いを申し上げます。

公式ホームページ

福岡教育大学基金

検索

https://www.fukuoka-edu.ac.jp/about/efforts/foundation/fukkyou_foundation

「福岡教育大学基金」についてのお問い合わせは、福岡教育大学財務企画課までご連絡をお願いします。

お問い合わせ先

福岡教育大学財務企画課 TEL:0940-35-1210 FAX:0940-35-1701 E-mail:kaihosa@fukuoka-edu.ac.jp

同窓会 城山会

じょうやま

「城山会 第17回 新年の会」 盛会裡に終わる

平成30年2月4日(日)この冬一番の寒波の雪の中、福岡市と福岡地区担当で(実行委員長:白石哲雄)博多サンヒルズホテルにて開催されました。

福岡県副知事 江口勝様、櫻井学長をはじめ大学役員、附属福岡小学校長、先輩同窓会、福岡県小・中学校長会長等のご来賓、及び各県支部4県・福岡県28支会会員 約300名が集いました。

会員相互の交流親睦がはかられた有意義な会でした。



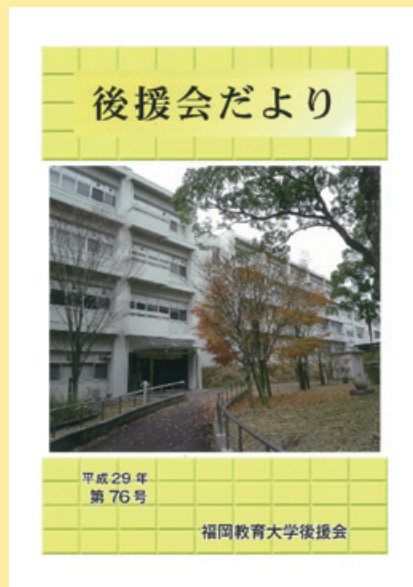
福岡教育大学同窓会城山会 (会長)太田 勝視
TEL・FAX 0940-33-2211
e-mail:jouyamakai@able.ocn.ne.jp

後援会

「後援会だより」第76号発行のお知らせ

「後援会だより第76号」を12月に発行し、保護者の皆様へ送付いたしました。お手元に届きましたでしょうか。今回は教員採用試験・就職活動・教育実習を終えた学生を中心に、就職支援などについて掲載しています。

ご意見ご要望などがございましたら、下記事務局までご連絡ください。



福岡教育大学後援会事務局
TEL・FAX: 0940-33-8070
e-mail: kouenkai@eos.ocn.ne.jp

健康科学センター

健康科学センターでは、医師、看護師、カウンセラーによる心身両面での相談を受け付けています。

その他、いろいろな企画をしていますので、ぜひお気軽にお越しください。

＊お花を育てる会

開催日は掲示板やHPでお知らせします(2回/月)。

天候によって、しおりの制作やハンドクリーム作りなども行っています。

一緒に花を植えてくれる人を募集しています

日時: 月1~2回 水または金曜日
14:30~16:00

場所: 健康科学センター前の花壇

*参加希望者は、健康科学センタースタッフに声をかけてください。
*当日は、お飲み物持参です!

お花を育てる会では、月に1回のペースで、栽培やワークショップを行います。
お気軽にご参加ください!

お花を育てる会

健康科学センターHP
<http://ww1.fukuoka-edu.ac.jp/~hokenctr/index.html>

福岡教育大学の 広報ポスターを作成しました

九州の教員養成拠点大学として、教師という仕事の価値や、人を育てることの尊さを発信し、教師を志す一人ひとりと真摯に向き合う覚悟を社会に伝えることを目的として、広報ポスターを作成しました。

広報ポスターは、今号の裏表紙に掲載しており、今後、本学ホームページ、JR教育大前駅ホームパネル看板広告及びJR博多駅(北改札口正面)コンコース「博多Eki-vision」等でも公開予定としていますので、是非ご覧ください。



広報ポスター作成の様子(和田圭壮教授)

国語以外は苦手な子が小説家になるかもしれない。
ノートにらくがきしてばかりの子が画家になるかもしれない。
チョウやバッタにしか興味のない子が100年後の絶滅種を減らすかもしれない。
ケガの多いやんちゃな子が多くの命を救う医者になるかもしれない。
インターネットばかりしている子が平和を創るプログラムを発明するかもしれない。

その可能性を広げる。

教師は、
世界を変える仕事だ。

あすの教育に、夢を。



国立大学法人
福岡教育大学
University of Teacher Education Fukuoka

www.fukuoka-edu.ac.jp

Joyama 通信 vol. **41**

福岡教育大学広報誌第41号 2018年3月26日
編集発行: 国立大学法人 福岡教育大学 経営政策課

〒811-4192 宗像市赤間文教町1-1
TEL.0940-35-1205 FAX.0940-35-1259
e-mail: kouhou@fukuoka-edu.ac.jp
ホームページ: <https://www.fukuoka-edu.ac.jp/>



福岡教育大学
イメージキャラクター
フッキー



携帯電話サイト



Twitter



YouTube

リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。